

北海道立子ども総合医療・療育センター 広報誌

発 行 日 令和2年9月1日 発行責任者 續 晶子

編集責任者 髙室 基樹

〒006-0041 札幌市手稲区金山1条1丁目240番6

電話(代表)011-691-5696

URL https://kodomo.hospital.hokkaido.jp/

コドモックルNICU/GCUが新しくなります

特定機能周産期 母子医療センター長

> あさぬま ひでおみ 浅沼 秀臣

当センターNICU/GCUには生まれながら病気を もった子どもたち、特に、外科的治療や複数の診 療科の診療が必要な子ども、さらに早期に理学療 法などの集中的訓練が必要な子どもたちが全道か ら集まります。たくさんの最新の医療機器、最新 のノウハウで子どもたちの生きる力を全面的にサ ポートしておりますが、これまでのNICU/GCU病 棟は非常に狭く、たくさんの医療機器を置いてし まうと、おかあさん、おとうさんに大変窮屈な思 いをさせてしまう状態でした。常々、大変申し訳 なく思っておりました。

この度、長年のわれわれの念願がかない、全面 的に改築することとなりました。最新のNICU/ GCU設置基準に基づき、子どもたちの居住空間を より広く確保し、ゆったり面会していただける環





境になります。

さらに、これまでNICU9床での運用であり、慢 性的に満床状態が続いておりましたが、完成後に は12床に増床され、満床状態が多少なりとも緩和 されると見込んでおります。

工事中はNICU、GCUの機能を一斉にストップ することはできませんので、工期を2期に分けま した。7月末で第1期工事は終了しました。これ までGCUやファミリールーム、器材庫などであっ た部分をすっかり壊して、新NICUに変身させまし た。その新NICUは8月初めからを稼働しておりま す。現在は、新GCUやファミリールーム、器材庫 などに作り上げる2期目の工事を行っています。 先日、ちらっと中をのぞいてみましたが、仕切り 壁や天井などすべてなくなり「がらんどう」の状 態でした。

工事がすべて終了し、フルオープンするのは11 月はじめの予定です。それまでは大きな音が出る こともあります。また廊下も狭くなっており、皆 さまには大変ご迷惑をおかけします。もう少々お 待ちください。

最新の医療機器も導入しました。北海道唯一の

子ども病院のNICU/GCUとして最先端の医療を子 どもたちに提供することができるように、スタッ フ一同、これまで以上に精進を怠らずにがんばり ます。

新生コドモックルNICU/GCUに乞うご期待!

コドモックルでは引き続き

新型コロナウイルス対策に取り組んでいます。

前号(51号)でコドモックルの新型コロナウイ ルス対策を掲載しましたが、その後の取り組みに ついてお知らせします。

- ① 外来受診について、付き添いのご家族に検温 をお願いしていますが、受診は平常どおりの体 制に戻っています。
- ② 入院についても平常どおりの体制に戻ってい ますが、病棟によっては外泊、外出などに一部 制限が残っています。
- ③ ご家族の面会については、ご両親のみとさせ ていただき、面会時間の制限なども継続してい ます。
- ④ センターへの入り口は地下駐車場の玄関のみ とし、センターに入られる方の管理を継続して います。

なお、入り口に検温装置を設置しております ので、来院時の検温についてご協力をお願いい するなど、「3密」の回避に努めています。



たします。

そのほか、職員の検温は継続して行っており、 通勤方法についても公共交通機関を避けるなどの 対策を続けています。

また、マスクや手指消毒等も心がけており、セ ンター内での会議などについても、必要最小限と



Twitterやってます♪

コドモックルはTwitter(ツイッター)を使って情報発信して います。

コドモックルでのできごと・お知らせの掲載、災害時に情報 提供を行います。

ぜひ、フォローお願いします。

